

Canforo

カンフォロ

愛媛県美術館ニュースNo.29 2006

No. 29

Exhibition 企画展

リール近代美術館所蔵 ピカソとモディリアーニの時代展

平成18年4月20日[木] - 6月4日[日]

●会場/新館1階[企画展示室]

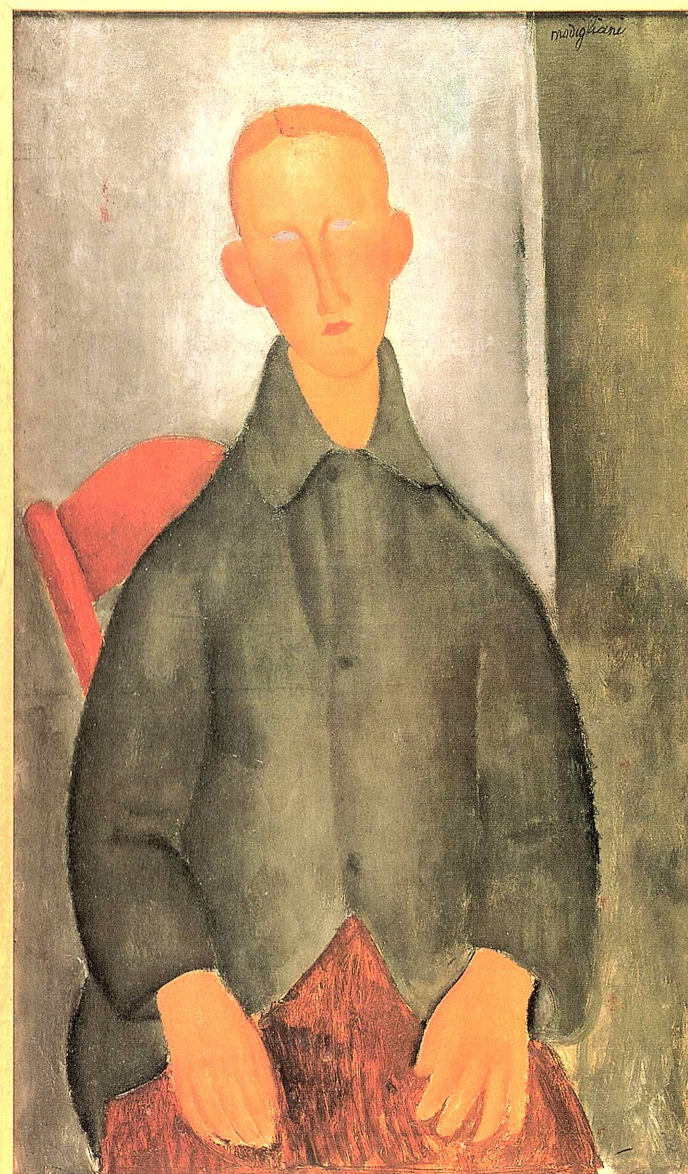
フランスのヴィルヌーヴ・ダスクにあるリール近代美術館は、20世紀美術の優れたコレクションで世界的に知られています。それは、ロジェ・デュティユ(1873~1956)とその甥ジャン・マジユレル(1908~91)という、2人の慧眼をもった人物により築かれたコレクションです。本展では、ピカソ(1881~1973)とモディリアーニ(1884~1920)の生きた時代に光を当て、同コレクションより油彩、素描、彫刻などを紹介します。

出品作家には、ピカソとモディリアーニのほか、ブラック、レジェ、ユトリロ、ルオー、ミロ、クレー、カンディンスキー、ピュッフェ、ポーシャンなど、日本人に馴染み深い作家はもちろん、これまで日本にあまり紹介されてこなかった作家も含まれています。

数ある見所の中から、モディリアーニのコレクションの一部を取り上げてみましょう。1908年に描かれた若い女の胸像は、数少ないバリ時代初期の油彩画の一つであり、画家の原点を伺い知ることができます。彫刻のための素描は、対象を捉える造形感覚が立体と平面ではどう違うか、探してみる際のヒントになります。短い筆触を途切れ途切れに繋いだ輪郭線による作品は特殊なもので、限られた期間に実験的に手掛けられました。彫刻における削る行為を想像しながら観てみれば、面白味が増すでしょう。画家キスリングの肖像画は、二人の交友関係を端的に示しています。配色が効果的な作品で、鮮やかな青衣と清潔な白いシャツは、健康的な肌を引き立てています。彫刻家リブシツが注文した夫婦の肖像画のための素描は、制作の過程で繰り返される素早い観察記録の一回分であり、画家の像主に対する生の感情を読み取ることができるかもしれません。黒コンテで裸婦を描いた素描では、画家が得意とする勢いのある線の内側から、自然な美しさが溢れ出ています。油彩による官能的な裸体画からは、往時を生きた女性の生命感が熱っぽく伝わってきます。そして、瞳を欠いたアーモンド型の眼をした人物の絵は、抗い難い独特の魅力を湛えて、観る者を画中にいざないます。

このようにみてくれば、モディリアーニの作品の収集は、作品の造形言語の的確な読解と作家に対する高い評価の上に成り立っている、ということがわかります。コレクターが先見の明をもって見出した作家はいるのか。コレクションに一貫した美意識を見出すことはできるのか。コレクション形成の視点を探りながら会場を歩いてみることも、コレクション展を鑑賞する際の醍醐味の一つです。ピカソとモディリアーニの時代を、デュティユとマジユレルは一体どのように眺めていたのでしょうか？

学芸員 武田 信孝



アメデオ・モディリアーニ《赤い髪の男子》1919年

特集展「春の景色・梅・桜・牡丹」より

天野方壺《牡丹図》

会期：平成18年3月21日[火]～5月上旬
会場：新館2階[常設展示室1]

「立てば芍薬、坐れば牡丹、歩く姿が百合の花」と聞くと笑点大喜利の桂歌丸さんの奥さんネタを思い出していますが、もともと古くから愛されてきた都々逸です。女性の美を形容する言葉であるのはいまでもありません。

美人を花にたとえ、花に美人を投影することは昔も今も盛んです。例えば、唐の詩人、白居易は「梨花一枝、春、雨を帯ぶ」と詠い、かの楊貴妃の落涙する様子の美しさを春雨に濡れる一枝の梨花にたとえました。今ここに取り上げる明治初期の文人画、天野方壺の《牡丹図》の場合、牡丹の花の美しさを中国の伝説的な美女にたとえています。

画面の右上には漢詩が記されています。中国明代の女性詩人、馬氏の作です。庭に咲く牡丹の美しさを唐の楊貴妃や春秋時代の西施(西子)にたとえた詩ですが、特に興味深いのは対をなす「洛陽宮裏楊妃酔」と「呉国台前西子妝」の二句です。前者は「楊妃帯酔」の故事をを連想させます。唐の時代、木蘭殿に諸王が参集しての宴席上、酔った楊貴妃が天女のように舞い、不機嫌だった玄宗皇帝を悦ばせたという話です。木蘭(木蓮)の花の咲く季節の出来事と伝えられます。対する後者は、亡国の美女として知られる西施を詠っています。呉国の王は、越国の王より贈られた西施の美に夢中になり、政道を踏み外して自国を弱体化させ、ついには越に攻撃されて滅亡しました。「西子、妝ふ」とは西施が美しく化粧した様をいうのですが、同時に「西施曉妝」と呼ばれる菊の一種をも連想させるかもしれません。このように、牡丹の美を謳いあげた詩の中に他の花の名をも織り込んでいと読めるのです。

牡丹の花から中国の大昔の美女たちを連想し、美女たちの故事からさらに他の様々な花へと連想を拡げてゆく知的な戯れの世界。歴史・文化と自然とが渾然一体と化した濃厚な美の世界を感じ取ることができます。

主任学芸員 梶岡 秀一

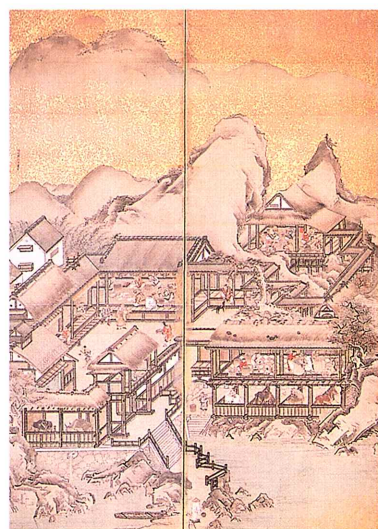


I N F O R M A T I O N

18年度企画展紹介

魅力ある展覧会を取り揃えています。お見逃しなく!

4月	「リール近代美術館所蔵 ピカソとモディリアーニの時代」展 (仮称) 4月20日(木)～6月4日(日)	北フランスのリール近代美術館コレクションより、ピカソやブラックなどキュビズムの作品や、モディリアーニをはじめとするエコール・ド・パリの作品など、20世紀に花開いた西洋美術の精華を紹介します。
6月	山寺・後藤美術館所蔵 ヨーロッパ絵画名作展 (仮称) 6月16日(金)～7月30日(日)	山形県の山寺・後藤美術館が所蔵する宮廷絵画からコロ、ミレーなどバルビゾン派に至るまでのヨーロッパ絵画を紹介します。
8月	四大浮世絵師展 ～歌麿・写楽・北斎・広重～ 8月11日(金)～9月18日(月)	江戸の生活すべてを題材とした身近な芸術で、国際的にも評価された浮世絵。四大浮世絵師である、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重の代表的な傑作を展示し、浮世絵の魅力に迫ります。
10月	大おさかな芸術展 (仮称) 10月13日(金)～11月26日(日)	人間生活に直結し、古来より芸術作品のテーマとして多く取り上げられた海や魚。その様々に表現された作品を紹介し、海・魚・芸術との関わりを探ります。
12月	愛媛の名工ふれあい展 II 平成19年1月5日(金)～1月28日(日)	愛媛県内において、水引、和紙等の伝統工芸に従事している名工たちの優れた作品を紹介し、愛媛の伝統工芸のよさに触れていただきます。
2月	松本山雪—伊予の絵画の曙 (仮称) 平成19年2月10日(土)～3月25日(日)	伊予松山藩の初代御用絵師である松本山雪の画業を紹介します。また、同時代に全国各藩で活動していた藩絵師の作品も併せて紹介し、江戸初期における藩絵師の実態や、山雪の位置づけを検証します。



松本山雪《製茶風俗図屏風》部分

めざせ!!匠

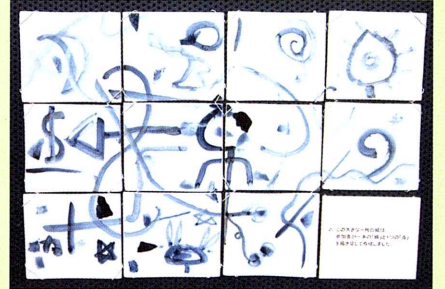
平成17年12月3日(土)・4日(日)・平成18年1月9日(月)・祝

1月に開催された「愛媛の名工 ふれあい展1」の関連事業として、菊間瓦と砥部焼を取り上げ、作品を制作し展示するという講座を開催しました。

12月初旬に、菊間瓦の粘土で鬼瓦(立体)を制作するコースと、砥部焼の特徴である白磁に呉須(藍色)を生かし、陶板(平面)に描くコースに分かれ制作。鬼瓦では、作家の制作をつぶさに眺めつつ、空想の生き物となる鬼を、牙をつけたり、角を生やしたりと独創性にとんだ存在感ある鬼瓦に仕上げていきました。陶板のコースでは、陶板に呉須の濃淡を考へながら、雪だるまや風景、昆虫など好きな題材を各々が自由に描き、その後1枚の陶板を組み合わせた画面に、一本の線とスポンジによる一点を受講者全員が付け加えてミロのような共同作品も出来ました。

展覧会が始まった1月初旬に、焼成された作品を参加者自ら展示、感想を話し合いました。展覧会出品作家の方々にも、材料の準備・焼成、指導とご協力いただき、展覧会の名称のとおり、受講者とふれあっていただく講座にすることができました。

主任学芸員 田代 垂矢子



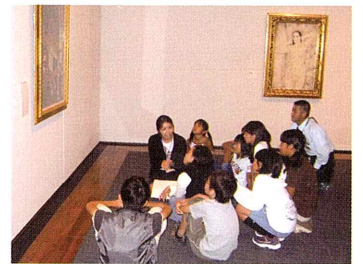
見て!考えて!話す! 鑑賞タイム

- 一般:毎日(毎月第2・3土曜を除く)午後2時~4時 常設展示室
- 学校団体:申込みに応じて随時(申込みは2週間前まで)

美術館では昨年の11月より、毎日常設展示室の作品の中から3点程度を選んで約1時間、美術館スタッフを司会進行役に、参加者どうしでそこから見えたもの・心に浮かんだことを話し合いながらお互いに学び合う、Visual thinking method(見て、考えて、考えたことを話す手法)を取り入れた作品鑑賞を行っています。この「Visual thinking method」と呼ばれる作品鑑賞は1980年代後半にニューヨーク近代美術館(通称MOMA)で考案された鑑賞方法・哲学ですが、最大の特徴は美術館の利用者自身が主体となった学びを創り出すことができる点にあり、近年、日本の美術館・博物館で徐々に広がりを見せています。現在、愛媛県美術館では、主に大人の方を対象とする鑑賞タイムと、小中学校の遠足等で美術館を利用する子どもたちの鑑賞タイムの2コースを設けています。大人の方には毎月第2・3土曜日を除く毎日開館日に、午後2時と3時かつ常設展示室で楽しいトークを実施しています。また子どもたちについては、これまでの美術館見学では、まずはじめに子どもたちを一斉に集め、スタッフから美術館利用についてのレクチャーを行った後、自由見学という形をとってきましたが、この11月からは平均10名の子どもたちに1名のスタッフがついて、ゆったりした環境で約2~3点の作品をじっくり見て廻る(その後自由見学)という形で、「絵」を楽しんでいます。これまでに10校のみなさんが参加されましたが、体験した子どもたちや学校からは大変好評を頂いています。

この鑑賞タイムは今後、様々な形で充実させていきたいと思っておりますので、どうぞ、じっくり・ゆっくり・楽しく!「絵」を見るためにぜひ美術館へお越しください。みなさまとお会いできるのをスタッフ一同楽しみにして、お待ちしております。

主任学芸員 鈴木 有紀



美術館日記 美術館を支えるスタッフ紹介の第2弾!

美術館を訪れたお客様が最初に接する人といえば…。今回ご紹介するのは、総合案内と常設展示室前のカウンターで業務に当たっている展示監視員さんです。受付なのに監視員?そうです。

この人たちは、何を隠そう!まさに展示の監視をしているのです。1日に複数の監視員さんが、受付と各展示室をローテーションしながら対応しています。

展示監視員さんにお仕事についてリアルな意見を聴取すべく、取材してきました。

●大変なことは?「眼気の戦い」「作品について難しい質問を受けたとき」「展示室内での禁止事項をお客様にお願いするタイミングが難しい」

●得たことは?「職場で癒される」「繰り返し作品を見ることで新たな発見がある」というわけで、監視員さんたち頑張っています。応援してくださいね~! <インタビュー>主任学芸員 中山公子

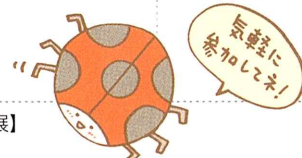
お待ちしてまーす!



	2	3	4	5
展覧会				
企画展示室		ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展 TOPICS 2/10(金)-3/26(日)		リール近代美術館所蔵 ピカソとモディリアーニの時代展 P.1 4/20(木)-6/4(日)
常設展示室	1.日本画・書	山水画 -3/19(日)	春の景色-梅・桜・牡丹 P.2 3/21(火)-5月上旬	
	2.洋画	静物画の魅力 -5月上旬		
	3.現代美術	もの派 -5月上旬		
特別展示室	1.西洋美術	19~20世紀の絵画・彫刻Ⅳ -3/19(日)	19~20世紀の西洋美術Ⅰ 3/21(火)-5月上旬	
	2.福田平八郎	冬・初春の風物 -3/19(日)	春の風物 3/21(火)-5月上旬	
	3.郷土作家	愛媛の具象彫刻 -5月上旬	芥川 永 (遠くの声(2))	
ハイビジョンギャラリー		企画展関連 2/9(木)-3/26(日) ●アンダルシアの犬 ●幕間 ●眠る/ウ 10:00, 14:00(1時間) ●アンダルシアの犬 11:30, 15:30(15分)	左記以外の上映時間 ①10:30 ②13:30 ③15:30 ※プログラムは館内に掲示しています。	
県民ギャラリー(南館)		第3回講座&アトリエ展 2/7(火)-2/16(木)		
分館		めでたきかたち-吉祥と寿ぎの美 -3/12(日)		

普及事業	
実技講座	●展覧会ができるまで ~講座&アトリエ展をつくらう~ 2/4(土)-5(日) 各10:30~16:00 (全2回) 中学生以上・15名
美術講座	●「ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展」まるごと講座 A.2/26(日) 10:00~12:00 高校生以上(60名) B.3/5(日) 13:30~14:30 小学4~6年生(15名) C.3/12(日) 13:30~14:30 小学4~中学3年生(15名) A.B.C.いずれかを選択
美術体験講座	●ダンボール小屋を作ろう 2/4(土) 13:30~16:00 小学4~6年生・20名 ●春を呼ぶカリンバ A.3/18(土) B.3/19(日) 13:30~16:00 中学生以上・各10名 A.B.いずれかを選択
学芸員によるギャラリートーク	●2/11 静物画の魅力を探ろう【常展2】 ●2/18 もの派の作家たち【常展3】 ●3/11 ダリとシュルレアリストたち【企画展】 ●3/18 春の風物より【常展・特展2】

各講座の申込方法
往復はがきに希望講座名・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入し、開講日の2週間前までにお申し込みください。詳しくは、普及係まで。
※定員に満たない場合は、申込締切後も受け付けています。応募多数の場合は抽選となります。



TOPICS

ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展

20世紀を代表する芸術家サルバドール・ダリの卓越した描写力と独自のイマジネーションによる作品群を紹介します。また、あわせてマグリット、デルヴォー、エルンスト、ミロなどのシュルレアリストたちの作品もご覧いただけます。ダリを始めとするシュルレアリスム(超現実)の世界をお楽しみください。



関連事業

「週末の朝はダリ!!」~毎週「ひとつ」からはじめるシュルレアリスム入門~

●会期中毎週土、日曜日 ●11:00~11:30 ※企画展観覧券が必要です。申込不要
美術館ではダリ展の開催に伴い、当館作品ガイドボランティアといっしょにダリ展の作品をじっくり・ゆっくり見て、楽しくお話するためのスペシャルプログラムを開催します。とりあげる作品は毎回ひとつずつ。シュルレアリスムの巨匠たちの作品が毎週、変わるがわる登場します。どうぞお気軽にご参加ください。

ご利用案内 ■開館時間:9:40~18:00(入室は17:30まで) ■休館日:毎週月曜日(祝日及び振り替え休日に当たる場合は、その翌日)、12/29~1/3

アトリエ 利用時間 9:40~18:00

創作活動のできるスペース、アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。
●利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
●お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表の会場として講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)がご利用いただけます。料金等、詳細については、当美術館総務課まで、お問い合わせください。

【交通案内】

- JR松山駅より道後温泉または市駅前行き市内電車で5分、「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
- 松山観光港よりリムジンバスで30分。「市駅」下車、徒歩5分。
- 松山空港より車で20分。
※駐車場は、県庁西駐車場を利用することができますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。

休館日のお知らせ
平成18年3月まで、
毎月第1月曜日開館、
翌火曜日休館を試行します。

ハトの声(編集後記)

美術館前の競輪場の取り壊しが、随分進み、展望ロビーからの眺めが随分変わりつつあります。来年度から埋蔵文化財の調査が始まり、その後、公園に整備されるということですが、美術館の前にどんな景色が広がるか楽しみです。(M.I.)

愛媛県美術館
THE MUSEUM OF ART EHIME
〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>

